

福岡市文化芸術振興財団における新型コロナウイルス感染症に関する対応について

令和3年度の主な取組み

1 令和2年度から令和3年度に延期して実施する事業

- (1) 文化芸術に親しむきっかけづくり
 - 親子芸術体験事業：演劇公演「悟空～冒険の幕明け～」
 - 伝統芸能事業：講談「寛永宮本武蔵伝」
- (2) 市民の文化芸術活動の支援
 - 福岡市民芸術祭：オープニングイベント「線香花火」
メイン事業「(仮) ドラマチック美術館」

2 令和2年度からの継続事業

新型コロナウイルス感染症により、文化芸術関係者は活動が制限される等の影響を受けていることから、引き続き下記の取組みを行っている。

- (1) 支援策等の情報発信、相談体制の充実
 - 財団ホームページに「新型コロナウイルスに関する支援情報」を掲載
 - ・市や国等の助成金等の募集情報を掲載
 - 文化芸術活動継続に関する相談対応
- (2) FFACステップアップ助成プログラム
 - ・オンラインによる活動に対して助成
 - ・今後の発展が期待できる活動者を支援するため採択件数を拡充
- (3) 福岡市民芸術祭
 - ・オンラインによる発表を参加行事として支援
 - ・関係団体（演劇、音楽、展示等）の新型コロナウイルス感染症対策に係るガイドラインを紹介